

令和 9 年度

# 法科大学院学生募集要項

## 専門職学位課程

第一期	スカラシップ入試
第二期	スカラシップ入試
第三期	スカラシップ入試
第四期	スカラシップ入試
第一期	一般入試
第二期	一般入試
第三期	一般入試
第四期	一般入試

# 《目 次》

## 募集概要

1. アドミッション・ポリシー…………… 1
2. 募集する研究科・専攻…………… 1
3. 募集人員…………… 1

## I. スカラシップ入試

1. スカラシップ入試の趣旨…………… 1
2. スカラシップ入試の入学者選抜の流れ…………… 2

## II. 一般入試

1. 一般入試の入学者選抜の流れ…………… 3

## スカラシップ入試 一般入試 共通

### III. 出願に関すること

1. 出願資格…………… 4
2. 入学検定料…………… 5
3. 入学検定料の支払方法について…………… 5
4. 出願の方法…………… 6
5. 出願書類の宛先…………… 6
6. 出願書類…………… 6
7. 併願について…………… 8
8. 出願上の注意…………… 8
9. 受験票の送付…………… 8
10. 出願書類等記入上の注意…………… 8

### IV. 選考に関すること

1. 選考方法と配点（各期共通）…………… 11
2. 試験時間（各期共通）…………… 12
3. 試験会場…………… 13
4. 受験上の注意…………… 13

### V. 合格発表と入学手続

1. 合格発表…………… 14
2. 入学手続期間…………… 14
3. 入学手続…………… 14
4. 学費…………… 15

### VI. 奨学生制度…………… 16

### VII. 記入例

1. 入学者選抜用志願書（パーソナル・データ）の記入例…………… 17
2. A票～C票の記入例…………… 18

## 募集概要

### 1. アドミッション・ポリシー

専修大学法科大学院は、「議論による問題解決能力」を有する法曹の養成を目的としています。法律家に最も必要とされる資質が、議論による問題解決能力であると考えているからです。議論による問題解決能力とは、共通言語である法律学の基礎理論に基づき、相互に、主張、反論、再反論を繰り返すことによって、いかに異なった価値観を有する者の間であっても、その共通言語を通じて共有する世界を構築できる能力のことです。したがって、入学者選抜に際しては、「公平性・開放性・多様性の原則」を遵守したうえで、社会の多様な層から、意欲をもって、基礎理論の修得及びそれに基づく議論を展開することができる人材を求めています。

そのため、法学未修者については、読解力・論理的思考力・文章力を備えるとともに、社会的思考力、コミュニケーション能力がある人材を求めています。

法学既修者については、法学未修者に求められる素養に加えて、法学既修者として単位認定される科目（憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法）について十分な知識を得ている人材を求めています。

### 2. 募集する研究科・専攻

法務研究科（法科大学院）法務専攻

### 3. 募集人員

法学未修者 14名（3年制：法律学の基礎的な学識を有しない者）

法学既修者 14名（2年制：法律学の基礎的な学識を有すると認められた者）

※上記募集人員には、スカラシップ入試（早期卒業・5年一貫型教育選抜・開放型選抜）の募集人員を含みます。

[入学試験ごとの募集人員について]

**第一期 スカラシップ入試** 法学未修者 5名

法学既修者 5名

**第一期 一般入試** 法学未修者 2名

法学既修者 2名

※第二期入試以降の募集人員については、それぞれの出願期間前日までに本学Webサイトにて公表いたします。

URL：<https://www.senshu-u.ac.jp/education/lawschool/>

※法学未修者、法学既修者としての基準に達しない場合には、募集人員にかかわらず合格とはいたしません。また、当該基準を上回る者が多数となる際には、募集人員を超えて合格とする場合があります。

## I. スカラシップ入試

### 1. スカラシップ入試の趣旨

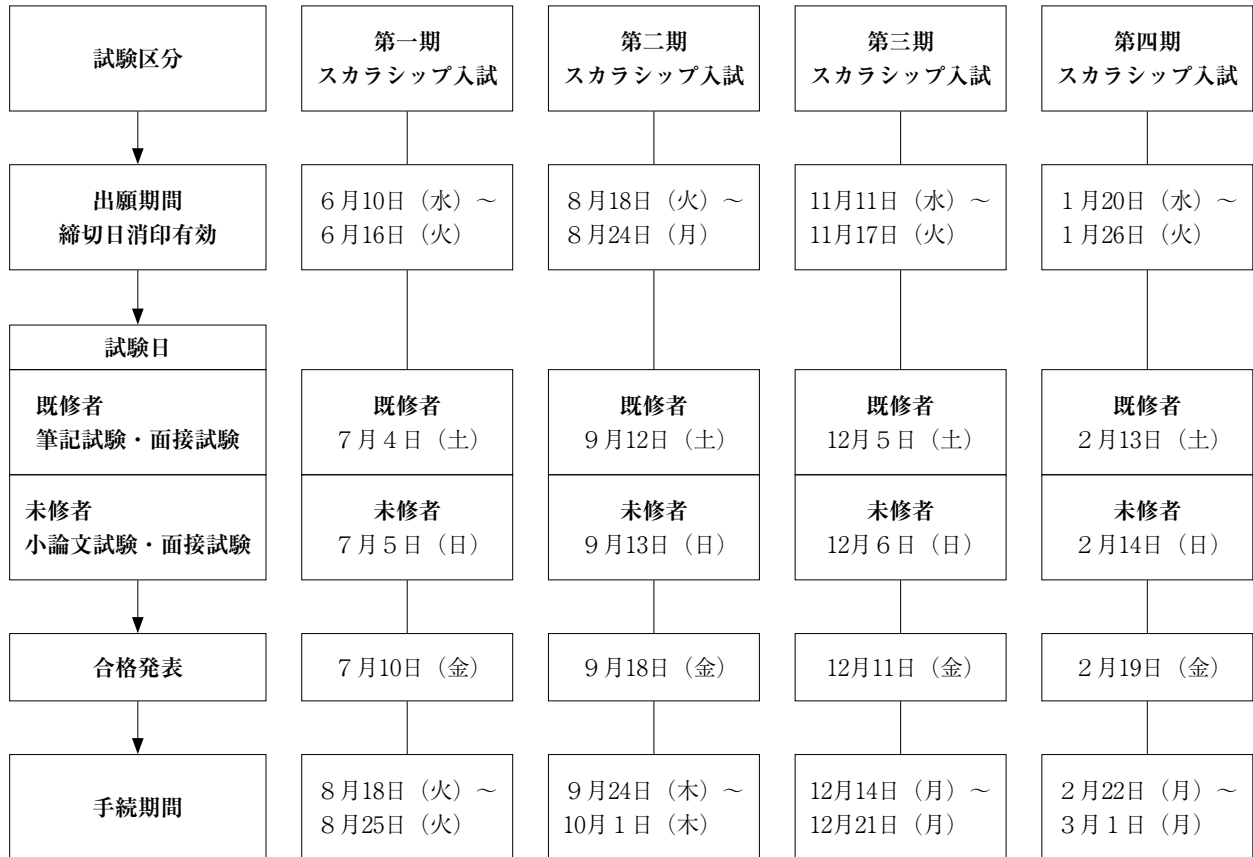
専修大学では、明治13年に専修学校を開学した若き創設者たちの理念を21世紀ビジョン「社会知性の開発」として掲げました。「社会知性の開発」とは、「社会の問題を自ら発見し、自ら考え、解決する知力を身につける」ことです。この理念を法科大学院では議論による問題解決という教育方針で表現しています。

スカラシップ入試で求めるのもこの趣旨に共鳴する方々です。この力を見るために長文の志望理由書を提出していただき、その内容と入学試験の結果とを合わせて、可否の判定を行います。

専修大学法科大学院では、創立以来218名の司法試験合格者を輩出しています。社会の屋台骨を支える有為な人材として活躍しています。

今後も広く全国各地から人間性豊かな意欲ある志願者を募集いたします。

## 2. スカラシップ入試の入学者選抜の流れ



※全ての試験において「法学未修者」と「法学既修者」を併願することが可能です。

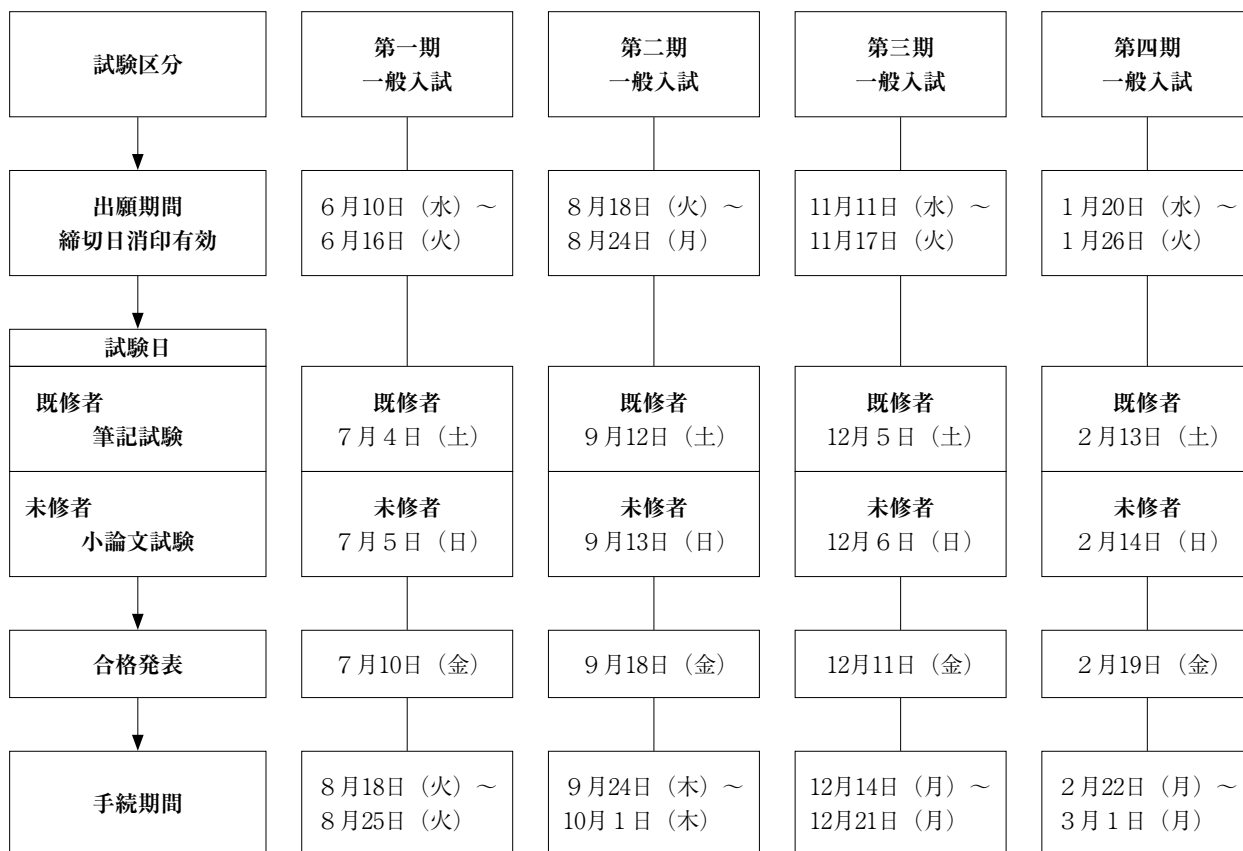
スカラシップ入試における合格者全員を「スカラシップ入試奨学生」として採用し、学費（入学金、授業料、施設費）相当額並びに月額8万円（年額96万円）を奨学金として給付します。また、この奨学生の採用期間は原則として、既修者は2年間、未修者は3年間となります。詳細については、奨学生制度（16ページ）を確認してください。

### 【出願における注意事項】

- 出願資格や入学検定料などの出願に関することは、4ページ以降を参照してください。
- 法科大学院在学中の者が出願し、本学法科大学院に入学する場合には、入学までに在学する法科大学院を修了することなく退学する必要があります。
- 司法試験の出願に関して、本学法科大学院の受験資格以外で司法試験を受験された場合は、支給した奨学金の返還を求めます。
- 飛び入学の出願資格で出願を予定している場合は、事前の審査が必要となりますので出願資格に記載されている期日までに法科大学院事務課（TEL 03-3265-6891）へ問い合わせてください。
- 法学未修者のみ、長期履修制度（4年制）を利用することができます。当該制度の利用を希望する場合は、各期の出願期間前日までに法科大学院事務課（TEL 03-3265-6891）へ問い合わせてください。
- スカラシップ入試は追加合格者の発表を行いません。
- 上記の第一期から第四期のスカラシップ入試以外にも、大学学部の法曹コース修了予定者や、学部を3年次で早期卒業する予定の者を対象としたスカラシップ入試（早期卒業・5年一貫型教育選抜・開放型選抜）を実施します。これらのスカラシップ入試については、本学Webサイト上において、10月頃を目処に募集要項を掲載する予定です。当該入試の出願方法は、提出書類の違いをはじめとして、本募集要項に記載の内容と異なる部分がありますので、注意してください。

## Ⅱ. 一般入試

### 1. 一般入試の入学者選抜の流れ



※全ての試験において「法学未修者」と「法学既修者」を併願することが可能です。

一般入試の合格者のうち、その成績が優秀な者を「新入生学術奨励奨学生A」、又は「新入生学術奨励奨学生B」として採用します。詳細については、奨学生制度(16ページ)を確認してください。

#### 【出願における注意事項】

- (1) 出願資格や入学検定料などの出願に関することは、4ページ以降を参照してください。
- (2) 法科大学院在学中の者が出願し、本学法科大学院に入学する場合には、入学までに在学する法科大学院を修了することなく退学する必要があります。
- (3) 司法試験の出願に関して、本学法科大学院の受験資格以外で司法試験を受験された場合は、支給した奨学金の返還を求めます。
- (4) 飛び入学の出願資格で出願を予定している場合は、事前の審査が必要となりますので出願資格に記載されている期日までに法科大学院事務課(TEL 03-3265-6891)へ問い合わせてください。
- (5) 法学未修者のみ、長期履修制度(4年制)を利用することができます。当該制度の利用を希望する場合は、各期の出願期間前日までに法科大学院事務課(TEL 03-3265-6891)へ問い合わせてください。
- (6) 一般入試のみ最終合格発表時に追加合格の候補者を発表する場合があります。

### Ⅲ. 出願に関すること

#### 1. 出願資格

以下の(1)～(14)のいずれかの出願資格条件を満たしている者。

\* (1)～(6)、(11)～(14)は、2027年3月までに出願資格を満たす予定の者も含む。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程又は専攻科（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学法科大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたと認められた者で、2027年3月31日までに22歳に達する者
  - \* (8) の出願資格は、外国人学校の卒業生等大学卒業資格を有していない者が対象
- (9) 飛び入学で大学院に入学した者であって、本学法科大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 飛び入学を希望する者は上記にかかわらず次の条件を満たす者（法学未修者・法学既修者）

現在、大学学部3年次に在学し、次の各号の全ての条件を満たす者

  - ① 2年次までに、卒業要件単位のうち70単位以上修得している者
  - ② 2年次までに修得した単位の70%以上の学業成績が、在学している大学の100点満点中80点以上であること
  - ③ 3年次終了時に、4年次配当科目を除く、全ての必修科目の単位を修得することが見込まれる者
  - ④ 3年次終了時に、卒業単位の70%以上を修得することが見込まれる者

なお、休学の期間は、在学期間に含めないものとする。また、入学者選抜試験に合格した後に、上記③及び④に定める単位及び学業成績を修めることができないことが確定した場合、入学を取り消す。
- (11) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (12) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学法科大学院が認めた者
- (13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学法科大学院が認めた者
- (14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学法科大学院が認めた者

\* 上記(8)～(14)については、事前の審査が必要となるため、以下の期限までに法科大学院事務課(TEL 03-3265-6891)へ問い合わせてください。

- ・第一期 スカラシップ入試・一般入試 2026年6月1日（月）まで
- ・第二期 スカラシップ入試・一般入試 2026年7月27日（月）まで
- ・第三期 スカラシップ入試・一般入試 2026年10月26日（月）まで
- ・第四期 スカラシップ入試・一般入試 2027年1月8日（金）まで

### 障がいがある者の特別措置について

障がいがあり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする者は、出願に先立ち第一期スカラシップ入試・一般入試については2026年6月1日（月）、第二期スカラシップ入試・一般入試については2026年7月27日（月）、第三期スカラシップ入試・一般入試については2026年10月26日（月）、第四期スカラシップ入試・一般入試については2027年1月8日（金）までに法科大学院事務課（TEL 03-3265-6891）へ問い合わせてください。

## 2. 入学検定料

- 1日 35,000円（同日受験の場合は単願でも併願でも同額）  
 2日目以降の入学検定料は年度内に限り1日10,000円となります。

			土曜日 同時出願	日曜日 同時出願	土・日 併願
スカラシップ	既修者	法律科目試験+面接	○		○
	未修者	小論文試験+面接		○	○
一般	既修者	法律科目試験	○		○
	未修者	小論文試験		○	○
受験料			¥35,000	¥35,000	¥45,000
受験料（同一年度受験済み）			¥10,000	¥10,000	¥20,000

例1 第一期スカラシップ入試 法学未修者（7月5日（日））・法学既修者（7月4日（土））併願の場合  
 ⇒試験日2日 1日目（35,000円）+ 2日目（10,000円）= 45,000円

例2 第一期スカラシップ入試に出願済み  
 第二期スカラシップ入試 法学未修者（9月13日（日））・法学既修者（9月12日（土））を併願し、  
 同時出願で第二期一般入試 法学未修者（9月13日（日））を併願する場合  
 ⇒試験日2日 1日目（10,000円）+ 2日目（10,000円）= 20,000円

## 3. 入学検定料の支払方法について

### 【銀行振込での支払方法】

本学所定の振込依頼書（写真票等と一連になっているC票）で最寄りの銀行窓口から**電信扱い**により振り込んでください。自動振込機（ATM）からの振り込みはできません。

なお、三菱UFJ銀行から振り込む場合、手数料は無料となります。

（1）〈A票～C票〉の各票に必要事項を記入のうえ、各票とも切り離さずに銀行の窓口へ提出してください。振り込みが完了しましたら、〈A票・B票〉を受け取り、銀行の収納印があるかを必ず確認してください。

（2）〈A票・B票〉を切り離し、〈A票〉のみを大学へ提出してください。なお、入学検定料振込金額収書〈B票〉は大切に保管してください。

※振込依頼書は今年度の全入試共通で利用可能です。

### 【クレジットカードまたはコンビニエンスストアでの支払方法】

納入方法は、<https://www.senshu-u.ac.jp/education/lawschool/admission/#credit>を参照してください。これらの方法によって振り込みを行い出願をするためには、①Webからの事前申込み、②支払い（オンライン決済・ネット受付店頭支払い）、③決済方法に従った出願が必要となります。



〈A票〉に必要事項を記入し、支払い後「収納証明書」部分を切り取り、〈A票〉裏面に貼付し、〈A票〉のみを大学へ提出してください。

※検定料の他に事務手数料が別途かかります。

\*一度振り込んだ入学検定料は、どのような理由があっても返還できません。

#### 4. 出願の方法

出願に必要な書類を取りそろえ、入学検定料を納入後、本学所定の出願書類送付用封筒に入れ、書留速達で郵送いただくか、又は法科大学院事務課へ直接提出してください。

#### 5. 出願書類の宛先

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8 専修大学 法科大学院事務課

直接提出の場合は、神田キャンパス8号館2階法科大学院事務課（アクセスは裏表紙の地図参照）

※窓口取扱時間 月～金 9：00～17：30

（8月18日～24日は、月～金 10：00～16：00）

#### 6. 出願書類

##### (1) 入学者選抜用志願書（パーソナル・データ）

本学所定の用紙を使用し、「出願書類等記入上の注意 入学者選抜用志願書（パーソナル・データ）について」（9ページ）を参照し、記入してください。

##### (2) 志望理由書

本学所定の用紙を使用し、「出願書類等記入上の注意 志望理由書について」（9ページ）を参照し、記入してください。年度内に同一の入試制度を2回以上出願する者で、志望理由書に変更のない場合、2回目以降の出願については志望理由書の提出は不要です。

##### (3) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書（厳封不要）

卒業（見込）証明書は、同様の内容が成績証明書に記載され、学位が確認できる場合には、提出する必要はありません。

卒業見込証明書について、書類添付ができない事由がある場合には、書類送付前に法科大学院事務課（TEL 03-3265-6891）に相談してください。

##### (4) 大学の成績証明書（厳封不要）

編入学又は学士入学により大学へ入学した場合は、**前の大学（短期大学を含む）の成績証明書**も併せて提出してください。

(5) 大学院修了者は、出願書類の(3)(4)に加えて、大学院の**修了証明書、成績証明書**を提出してください。2027年3月までに修了見込みの者は、成績証明書のみを提出してください。

(6) 結婚等により、出願書類の(3)(4)(5)の証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、**氏名変更を証明するもの**（戸籍抄本等）を添付してください。

##### (7) A票（写真票）

本学所定の用紙を使用し、「出願書類等記入上の注意 A票～C票について」（10ページ）を参照して記入してください。

必要事項を記入した後、入学検定料を適宜の方法にて納入のうえ、金融機関の収納印があるもの、または裏面に収納証明書を貼付したものを提出してください。

(8) 各種取得資格・検定試験成績等の証明書類【提出は任意】

適宜縮小コピーをするか折り込むなどして、「各種取得資格・検定試験成績等の証明資料貼付用紙」に貼付してください。なお、書類審査において評価の対象となる資格、検定試験等は、以下のとおりです。※評価対象以外の証明書類は同封しないでください。

評価の対象となる資格・検定試験等	
評価の対象となる資格 (コピー可)	医師、歯科医師、公認会計士、会計士補、司法書士、不動産鑑定士、不動産鑑定士補、弁理士、税理士、社会保険労務士、公認心理師、臨床心理士、薬剤師、獣医師、国会議員政策担当秘書、一級建築士、土地家屋調査士、中小企業診断士、行政書士、応用情報技術者、宅地建物取引士、マンション管理士
評価の対象となる検定試験 *有効期限を10年とします。 (コピー可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語 TOEFL<sup>®</sup>-iBT (72点以上) TOEIC<sup>®</sup> L&amp;R (700点以上)、実用英語技能検定(英検<sup>®</sup>)(英検S-CBT<sup>®</sup>、英検S-Interview<sup>®</sup>含む)(準1級以上)、国際連合公用語英語検定(B級以上) *英語の検定試験について、TOEFL<sup>®</sup>-ITPとTOEIC<sup>®</sup>S&amp;W、IPテストのスコアは評価の対象から除きます。 *TOEIC<sup>®</sup>の公式認定証については、デジタル公式認定証をダウンロードし印刷したものか書面による公式認定証を提出してください。デジタル公式認定証は試験日から5年間は印字されたQRコードを読み取ることで試験結果が保証されますので、2023年4月以降のTOEIC<sup>®</sup>L&amp;Rのスコアについては有効期限を5年間とします。ただし、書面による公式認定証を提出した場合は10年まで評価します。</li> <li>・ ドイツ語 Goethe-Zertifikat C2 (GDS) (合格) ドイツ語技能検定試験(準1級以上)(DDJ)</li> <li>・ フランス語 DELF (B2以上)、実用フランス語技能検定試験(DAPF)(準1級以上)</li> <li>・ 中国語 HSK (5級以上) 中国語検定試験(2級以上)</li> <li>・ スペイン語 スペイン語検定(DELE)(C1以上) スペイン語技能検定(2級以上)</li> <li>・ 韓国・朝鮮語 韓国語能力試験(TOPIK)(5・6級)、「ハングル」能力検定試験(1級) *語学の検定試験の成績を提出する場合には、パーソナル・データの備考欄に母語を記載してください。</li> </ul> <p>【既修者のみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法学検定試験 アドバンストコース</li> </ul>
その他に評価の対象とするもの	<p>【既修者のみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2024年以降の司法試験予備試験の短答式試験合格 その証明書類は論文式試験の受験票(コピー可)とします。 なお、紛失等で提出が困難な場合は、それに代わるものとして誓約書を提出してください。誓約書の書式は自由ですが、氏名、住所、電話番号、合格した事実を本人が自筆で記載し捺印してください。</li> </ul>

(9) 外国の大学、大学院(コミュニティカレッジ、語学学校除く)に6ヶ月以上留学した経歴を証明する書類(期間が明示されているもの)【提出は任意】

書類審査における評価の対象とすることを希望する者は提出してください。(コピー可)

(10) 飛び入学を希望する者は(3)(4)に代えて以下の書類を提出してください。

- ① 2年次終了までの成績証明書
- ② 3年次における履修証明書
- ③ 卒業要件を明記した書類(ガイドブックや履修要覧等) \*専修大学の学生は不要
- ④ ①・②の内容がわかる講義概要(シラバス等) \*専修大学の学生は不要

①に記載された成績取得済みの科目及び2026年度末までに履修予定の科目の単位数・科目内容・授業回数等がわかるもの

\*健康診断書、推薦状の提出は不要です。

## 7. 併願について

- (1) スカラシップ入試と一般入試の複数回出願、並びに両方への同時出願が可能です。
- (2) 全ての試験において「法学未修者」と「法学既修者」を併願することが可能です。
- (3) スカラシップ入試と一般入試の両方に同時出願する場合、志望理由書はスカラシップ入試用の1通のみを提出してください。
- (4) 出願書類は、スカラシップ入試と一般入試の両方に同時出願する場合や法学未修者と法学既修者を併願する場合でも提出は1部になります。  
第一期入試を出願した上で、第二期入試等に出願するなど入試期間をまたいで出願する場合は、再度、出願書類を提出する必要があります。
- (5) 各期で同時出願や併願する場合は、受験票に複数の受験番号を記載します。
- (6) スカラシップ入試の併願者は、法学未修者と法学既修者の2回の面接試験を受験することになります。
- (7) 併願等に係わる「入学者選抜用志願書（パーソナル・データ）」や〈A票・B票〉の試験区分の記載方法については、8ページの「出願書類等記入上の注意」や17ページからの記入例を参照してください。

※スカラシップ入試（早期卒業・5年一貫型教育選抜・開放型選抜）との併願手続については、本学ホームページで10月に公開する各スカラシップ入試の募集要項を確認してください。

## 8. 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備があるものは一切受け付けません。
  - ①入学者選抜用志願書（パーソナル・データ）の記入もれ、記入間違いのあるもの。
  - ②A票（写真票）に入学検定料の収納印の押印または裏面への収納証明書の貼付のいずれもないもの。
  - ③必要な出願書類が不足しているもの。
- (2) 出願に際して提出した書類、記載事項に不正が認められた場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、入学時に奨学生に採用されている場合は、その採用を取り消すとともに支給した奨学金の返還を求めることがあります。
- (3) 一度受理した出願書類は返還しませんのでご了承ください。
- (4) 不明な点は、事前に法科大学院事務課（TEL 03-3265-6891）へ問い合わせてください。

## 9. 受験票の送付

受験票は出願書類受理後、入学者選抜用志願書（パーソナル・データ）をもとにデータを作成し、「志願書に記載された住所」に郵送します。

## 10. 出願書類等記入上の注意

- (1) 出願書類等を記入する場合は、必ず**黒のペン又はボールペン**で記入してください。
- (2) それぞれの入試で法学未修者と法学既修者を併願する場合は、出願書類は1部提出となりますが、**期をまたぐ場合（例えば、第一期入試を出願済で第二期入試を出願する場合）は、再度、出願書類を提出してください。**
- (3) 記入した事項を訂正する場合には、誤った事項を二重線「=」で抹消し、訂正印を押してください。訂正はその上又は横に書き直してください（修正液や修正テープ等は使用しないでください。訂正の文字は各項目欄の枠からはみ出しても差し支えありません）。
- (4) 各出願書類における※印欄は記入しないでください。

## 入学者選抜用志願書（パーソナル・データ）について（17ページの記入例も参照してください）

氏名	記入欄の上段はカタカナ、下段は漢字で記入してください。
性別	該当する数字を○で囲んでください。
生年月日・年齢	生年月日は和暦で記入し、年齢は <b>令和9年4月1日現在の年齢</b> を記入してください。
写真	脱帽上半身正面（背景のないもの）、縦4cm、横3cm、最近3カ月以内に撮影したもので、 <b>裏面に氏名を記入してから貼付</b> してください。
試験区分	試験区分には受験期の数字を記載の上、出願する全てのチェック欄にチェックを入れてください。過去に実施された令和9年度入試の出願状況に基づいて、「同一年度内入試 過去の出願の有無」の該当欄にチェックを入れてください。また、「有」にチェックをし、年度内にすでに提出している志望理由書を使用する場合（同一の入試制度のみ可能）は、「志望理由書は過去に出願したものと同一である」にもチェックを入れてください。
住所	志願者と連絡がとれる住所、電話番号（市外局番も含む）を記入してください。携帯電話、メールアドレス（携帯電話のアドレス可）についても、記入してください。
入学後の通学住所	変更となる場合のみ☑をしてください。
学歴・職歴	高校からの学歴を全て記入してください。複数の学部を卒業している場合、大学院を修了している場合、外国の大学、外国の大学院（語学学校、コミュニティカレッジは除く）に留学した経験がある場合は余白行に記入してください。 職歴は具体的に、職名、地位等（正社員、非常勤・パート・アルバイト等）も記入してください。 なお、専業主婦、専業主夫等の場合もこの欄に記入してください。 また、 <b>学歴及び職歴欄は空白期間がないように年月順に記入</b> してください。 高校卒業から大学入学までに予備校在籍、専門学校卒業、就職経験などがある場合は、大学卒業（卒業見込み）の下の方に記入してください。
社会活動	社会活動（各種公的委員等）を行った場合、その団体等の名称、役職等及び活動内容を簡潔に記入してください。この項目については、証明する資料を必要としませんが、記載事項に不正が認められた場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
取得資格・検定試験等	・出願書類（8）各種取得資格・検定試験成績等の証明書類【提出は任意】（7ページ）に記載されているものについて記入してください。また、 <b>法科大学院修了等による司法試験受験資格を現在、又は過去において有している場合は、この欄に記入してください（証明書類不要）。</b> ・資料番号は「各種取得資格・検定試験成績等の証明資料貼付用紙」の資料番号欄と一致させてください。 ・各種検定試験を記入する場合は、「スコア」、「級」等も記入してください。 ・語学の検定試験成績を記入する場合は、備考欄に母語を記入してください。 ・補足事項等がある場合は、備考欄に記入してください。

最後に、パーソナル・データの左下枠内にある誓約書に同意の上、**自署でサイン**をしてください。

### 志望理由書について

スカラシップ入試	スカラシップ入試の趣旨（1ページ参照）を踏まえて、あなたが専修大学法科大学院を志望した理由を <b>1300字以上1400字以内（横書）</b> で述べなさい。なお、これまでのあなたの学業実績やキャリアも踏まえた具体的な内容とすること。
一般入試	あなたが専修大学法科大学院を志望した理由を、これまでのあなたの学業実績・キャリアを踏まえて <b>800字以上1000字以内（横書）</b> で具体的に述べなさい。

\*スカラシップ入試と一般入試の両方に同時出願の場合、**スカラシップ入試の志望理由書1通のみ**を提出してください。

\*志望理由書（所定書式）については、パソコン等での作成が望ましいですが手書きで作成したものを提出することを認めます。パソコン等で作成する場合には、末尾に総字数を記入し、氏名の欄は必ず自署してください。

\*書式は、パソコン等での作成用、手書き用のどちらもホームページからダウンロードできます。手書きの場合は、付属の用紙を使用しても構いません。

URL : <https://www.senshu-u.ac.jp/education/lawschool/admission/event.html#boshuyokoQR>



\*年度内に同一の入試制度を2回以上出願する者で、志望理由書に変更のない場合、2回目以降の出願については志望理由書の提出は不要です。ただし、2回目以降の出願時に改めて志望理由書の提出があった場合は、提出の書類を審査対象とし、以後新たに提出が行われるまでは当該志望理由書を審査対象として用いることとします。志望理由書に変更がなく、新たな書類を提出しない場合には、入学者選抜用志願書（パーソナル・データ）の試験区分欄の該当箇所には必ずチェックを入れてください。

1回目と異なる入試制度に出願する場合は、志望理由書の文字数が異なるため新たに志望理由書の提出が必要となります。

1回目の出願状況	2回目の出願	過去に出願したものと同一に <input checked="" type="checkbox"/> 可能 (再提出しない)
スカラシップ入試のみ (1300～1400文字)	スカラシップ入試のみ (1300～1400文字)	○
	スカラシップ入試・一般入試併願 (1300～1400文字)	○
	一般入試のみ (800～1000文字)	再提出 必要
スカラシップ入試・一般入試併願 (1300～1400文字)	スカラシップ入試のみ (1300～1400文字)	○
	スカラシップ入試・一般入試併願 (1300～1400文字)	○
	一般入試のみ (800～1000文字)	再提出 必要
一般入試のみ (800～1000文字)	スカラシップ入試のみ (1300～1400文字)	再提出 必要
	スカラシップ入試・一般入試併願 (1300～1400文字)	再提出 必要
	一般入試のみ (800～1000文字)	○

\* 志望理由書の参考資料として在学中の学修計画を記録した学修ポートフォリオの提出を認めます。

### 各種取得資格・検定試験の成績を証明する書類について

「各種取得資格・検定試験成績等の証明資料貼付用紙」に「氏名」、「資格・検定試験名」、「資料番号」、「証明資料名」、「発行年月日」を記入し、「資料貼付欄」に証明資料を縮小コピーするか、折り込むなどして枠内に貼付してください。

\* 資料番号は、「入学者選抜用志願書 (パーソナル・データ)」の取得資格・検定試験等の資料番号欄に記入した番号と一致するように記入してください。

\* 「各種取得資格・検定試験成績等の証明資料貼付用紙」が2枚以上必要な場合は、ホームページからダウンロードまたは付属の用紙をコピーして使用してください。

URL : <https://www.senshu-u.ac.jp/education/lawschool/admission/event.html#boshuyokoQR>



\* 法科大学院修了等による司法試験受験資格については、パーソナル・データへの記載のみで、証明する書類の提出は不要です。

\* 評価対象以外の証明書類は同封しないでください。

### A票～C票について (18ページの記入例も参照してください)

A票 (写真票)	①該当する受験期を選択してください。 ②試験区分：出願する全ての試験区分のカタカナに○をしてください。 ③氏名：記入欄の上段はカタカナで、下段は漢字で記入してください。 ④写真：最近3カ月以内に撮影した、脱帽、上半身、正面、背景のない縦4cm、横3cmのもので、裏面に氏名を記入してから貼付してください。 ⑤金額の欄に入学検定料の金額を記入してください。
B票 (入学検定料振込金額取書)	①振込日、受験期、氏名を記入してください。 ②出願する全ての試験区分のカタカナに○をしてください。A票で○をした試験区分と同内容か確認してください。 ③金額の欄に入学検定料の金額を記入してください。
C票 (振込依頼書)	依頼日、氏名、住所、電話番号を記入し、金額の欄に入学検定料の金額を記入してください。

\* クレジットカードまたはコンビニエンスストアでの支払方法を選択した場合はB票・C票への記入は不要です。

\* 今年度の第一期から第四期の入試共通で利用可能です。

## IV. 選考に関すること

### 1. 選考方法と配点（各期共通）

#### 法学未修者

##### 【スカラシップ入試】

出願書類による書類審査、本学法科大学院が行う筆記試験〔小論文〕及び面接試験により総合的に判断して合格者を決定します。合格者全員を「スカラシップ入試奨学生」として採用します。

##### 【一般入試】

出願書類による書類審査、本学法科大学院が行う筆記試験〔小論文〕により総合的に判断して合格者を決定します。

\*一般入試では面接試験を実施しません。

#### 法学既修者

##### 【スカラシップ入試】

出願書類による書類審査、本学法科大学院が行う筆記試験〔民法・憲法・刑法は論述式、商法・民事訴訟法・刑事訴訟法は短答式〕及び面接試験により総合的に判断して合格者を決定します。合格者全員を「スカラシップ入試奨学生」として採用します。

##### 【一般入試】

出願書類による書類審査、本学法科大学院が行う筆記試験〔民法・憲法・刑法は論述式、商法・民事訴訟法・刑事訴訟法は短答式〕により総合的に判断して合格者を決定します。

\*一般入試では面接試験を実施しません。

(注1) 法学既修者に課す筆記試験の全ての科目について、それぞれ基準点を設け、その基準点を下回る場合は、合計点にかかわらず、不合格となります。

(注2) 法学既修者及び法学未修者の筆記試験に関して、スカラシップ入試と一般入試は同一の試験問題となります。

#### 【スカラシップ入試】

##### 法学未修者

区 分	配 点
書 類 審 査	50
筆 記 試 験 (小論文)	100
面 接 試 験	70

##### 法学既修者

区 分		配 点	
書 類 審 査		50	
筆 記 試 験	民 法	論 述 式	120
	憲 法		80
	刑 法		80
	商 法	短 答 式	40
	民 事 訴 訟 法		40
	刑 事 訴 訟 法		40
面 接 試 験		70	

【一般入試】

法学未修者

区 分	配 点
書 類 審 査	80
筆記試験（小論文）	100

法学既修者

区 分		配 点	
書 類 審 査		80	
筆記 試験	民 法	論述式	120
	憲 法		80
	刑 法		80
	商 法	短答式	40
	民事訴訟法		40
	刑事訴訟法		40

2. 試験時間（各期共通）

スカラシップ入試

法学未修者

	試 験 時 間		
筆記試験 面接試験	9：50～10：00	10：00～11：30 (90分)	12：40～
	受験上の注意	小論文	面 接

法学既修者

	試 験 時 間				
筆記試験 面接試験	9：20～9：30	9：30～11：00 (90分)	11：20～12：50 (90分)	13：40～15：40 (120分)	16：20～
	受験上の注意	短 答 式 商 法 民事訴訟法 刑事訴訟法	論 述 式 民 法	憲 法 刑 法	面 接

一般入試

法学未修者

	試 験 時 間	
筆記試験	9：50～10：00	10：00～11：30 (90分)
	受験上の注意	小論文

法学既修者

	試 験 時 間			
筆記試験	9：20～9：30	9：30～11：00 (90分)	11：20～12：50 (90分)	13：40～15：40 (120分)
	受験上の注意	短 答 式 商 法 民事訴訟法 刑事訴訟法	論 述 式 民 法	憲 法 刑 法

### \* 法学既修者試験における六法の持込みについて

法学既修者の筆記試験（論述式）は、有斐閣「ポケット六法」、三省堂「デイリー六法」、ぎょうせい・第一法規「司法試験用六法」、第一法規「法科大学院試験六法」のうち、いずれか一冊の持込みを認めます。ただし、六法への書き込みのあるものは不可とします。

### 3. 試験会場

専修大学神田キャンパス 8号館 東京都千代田区神田神保町3-8（裏表紙参照）

受験する教室、面接試験の集合時間、場所等は受験票発送時に通知します。

試験会場の変更が発生した場合、受験票発送時に通知します。

### 4. 受験上の注意

- (1) 受験生は、「受験上の注意」が始まる10分前までに試験教室に入り、着席してください。
- (2) 遅刻（交通機関遅延によるものを含む）した場合、試験開始20分以降の入室は認めません。
- (3) 受験票は、必ず携行し、試験中は机の上に置いてください。
- (4) 外国籍の者は、出願書類に記載した氏名を使用してください。
- (5) 筆記試験での筆記用具は、黒か青のペン又はボールペンを用意してください。
- (6) 問題検討のためのラインマーカー、色ペン及び色鉛筆の使用は、問題用紙に限り許可します。
- (7) 試験教室には時計を設置していないので、時計を持参してください。
- (8) 辞書・計算・録音・通信等の機能を備えた時計の使用は禁止します。
- (9) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、試験教室に入る前に電源を切ってかばん等に入れてください。なお、時計としての使用も認めません。
- (10) 試験場では試験監督者の指示に従い、不正行為は行わないでください。不正行為が明らかになった場合には、合格発表後においても合格を取り消すことがあります。
- (11) 試験時間内の途中退室はできません。

## V. 合格発表と入学手続

### 1. 合格発表

	合格発表日	合格通知発送日
第一期スカラシップ入試・一般入試	2026年7月10日（金）	2026年7月9日（木）
第二期スカラシップ入試・一般入試	2026年9月18日（金）	2026年9月17日（木）
第三期スカラシップ入試・一般入試	2026年12月11日（金）	2026年12月10日（木）
第四期スカラシップ入試・一般入試	2027年2月19日（金）	2027年2月18日（木）

- (1) 上記の試験における合格者の発表は、発表日の11時に本学Webサイトにより行います。
- (2) 合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類を、上記に記載の発送日に速達で郵送します。
- (3) 不合格者及び一般入試の追加合格候補者には、その旨普通郵便で通知します。合格発表日に到着しない場合には、合否結果はWebサイトで確認をしてください。
- (4) 合否について、電話・郵便・Eメールなどによる問い合わせには一切応じません。

#### ●一般入試の追加合格について

合格発表時に、各期の一般入試の追加合格候補者を発表する場合があります。

定員に欠員が生じた場合に、追加合格候補者の中から追加合格者をWebサイトにて随時発表します。

**追加合格者には、追加合格発表日に合格通知書とともに入学手続関係書類を速達で郵送しますので、指定の期日までに手続を行ってください。**

\*追加合格者の入学手続の詳細及び入学手続期間については、入学手続関係書類で確認してください。

### 2. 入学手続期間

第一期スカラシップ入試・一般入試	2026年8月18日（火）～8月25日（火）
第二期スカラシップ入試・一般入試	2026年9月24日（木）～10月1日（木）
第三期スカラシップ入試・一般入試	2026年12月14日（月）～12月21日（月）
第四期スカラシップ入試・一般入試	2027年2月22日（月）～3月1日（月）

### 3. 入学手続

- (1) 合格者は、入学手続期限日までに学費を銀行から振り込んだうえで、必要書類を入学手続係宛に郵送し手続を完了してください。ただし、書類の郵送期限は締切日の消印があるものを有効とします。  
なお、期限日までに手続をしない場合は、入学を辞退したものとみなします。
- (2) 入学手続の際、写真1枚（カラー、光沢仕上げで、脱帽、上半身、正面、背景のない縦4cm、横3cmのもので、最近1ヵ月以内に撮影したもの）が必要となります。
- (3) 本学の入学手続完了後に、やむを得ない理由によって入学の辞退を希望し、2027年3月31日までに申し出た場合には、入学金相当額を除く「学費」を返還します。  
詳細は、合格者に送付する入学手続要項を参照してください。

\*本学法科大学院が出願資格として定める卒業等予定（4ページ参照）の資格により出願している者について、卒業等ができないことが確定した場合は、入学手続後であっても入学を取り消します。



## VI. 奨学生制度

### (1) 専修大学法科大学院奨学生制度

本学法科大学院には、将来ある優秀な学生に対する奨学生制度（給付）があります。これらの奨学生制度は、法曹希望者が経済的理由から法科大学院への進学を諦めることのないよう、また、法科大学院として、その設立の理念に基づき、実務に必要な学識及びその応用能力並びに法律に関する実務の基礎的素養を涵養するための教育を通して、豊かな人間性や職業倫理をも兼ね備えた法曹をより多く育むことを目的として設置しています。種類は下表のとおりです。

	名称	種別	対象及び要件（採用人員）	奨学金及び採用期間
学 術 奨 励 学 生	スカラシップ入試奨学生	給付	入学者選抜試験（スカラシップ入試）の合格者全員	未修者にあつては3年間、既修者にあつては2年間、入学金、授業料及び施設費相当額並びに月額8万円（年額96万円）を奨学金として支給
	新入生学術奨励奨学生A	給付	入学者選抜試験（一般入試）の合格者のうち、その成績が極めて優秀な者（未修者及び既修者の合格者のうちから10名以内）	未修者にあつては3年間、既修者にあつては2年間、入学金、授業料及び施設費相当額を奨学金として支給
	新入生学術奨励奨学生B	給付	入学者選抜試験（一般入試）の合格者のうち、その成績が優秀な者（未修者及び既修者の合格者のうちから10名以内）	未修者にあつては3年間、既修者にあつては2年間、授業料の2分の1相当額を奨学金として支給
	新入生特別学術奨励奨学生	給付	専修大学の卒業生（※）で、本学法科大学院の入学者選抜試験（一般入試）の合格者（未修者及び既修者の合格者全員）	未修者にあつては3年間、既修者にあつては2年間、月額8万円（年額96万円）を奨学金として支給
	今村力三郎記念奨学生	給付	在学生のうち前年度の学業成績が上位であり、かつ、日頃の学習態度及び人物の点からも専修大学が誇れる法曹となることが期待できる者（2年次生（未修者）及び3年次生から若干名） ただし、学術奨励奨学生の受給者は、この対象者から外す	当該年度の授業料の2分の1相当額を奨学金として支給
経 済 支 援 奨 励 学 生	利子補給奨学生	給付	在学生で経済的理由により入学又は修学の継続のために金融機関の教育ローン適用者となった者	当該年度の利子分の一部を補給
	家計急変奨学生	給付	在学生で家計支持者の死亡又は失業等による経済的困窮により、修学の継続が困難な者	授業料の25%相当額を支給
	災害見舞奨学生	給付	在学生で火災、風水害、地震等に被災し、経済的困窮度の高い者	20万円を上限として支給

※卒業生とは、専修大学の学部を卒業した者又は大学院を修了した者を指します。詳細については法科大学院事務課（TEL 03-3265-6891）へ問い合わせてください。

- \* スカラシップ入試奨学生に採用された者は、その他の学術奨励奨学生制度の採用対象外となります。
- \* 在学中の成績が著しく不振の場合、奨学生の採用を取り消すことがあります。
- \* 入学後、本学法科大学院奨学生規程における資格喪失の要件に該当した場合には、支給した奨学金の返還を求めることがあります。
- \* 司法試験の出願に関して、本学法科大学院の受験資格以外で司法試験を受験された場合は、支給した奨学金の返還を求めます。

### (2) その他の奨学生制度

上記のほかに、日本学生支援機構奨学金（貸与）等があります。

## Ⅶ. 記入例

### 1. 入学者選抜用志願書（パーソナル・データ）の記入例

第一期スカラシップ入試に出願済み

第二期スカラシップ入試 法学未修者（9月13日（日））・法学既修者（9月12日（土））を併願し、同時出願で第二期一般入試 法学未修者（9月13日（日））を併願する場合で、第二期入試においては第一期入試出願時と文字数が同一のため志望理由書を提出せず、第一期入試で提出済の志望理由書によって審査を希望する場合

受験番号	※未修				写真貼付欄 1. 上半身脱帽正面背景のないもの 2. 最近3ヶ月以内に撮影したもの 3. 写真（4cm×3cm）を貼付すること
	※既修				
フリガナ	センシュウ マナブ		性別	男…① 女…2	
氏名	専修 学		生年月日	昭・平 58年11月13日（43歳） <small>※年齢は令和9年4月1日現在の年齢を記入してください</small>	
受験期を記載の上、□には該当するものすべてに☑をしてください。			同一年度内入試 過去の出願の有無 ☑有 □無		
試験区分	第二期	☑スカラ ☑一般	☑未修者 ☑未修者	☑既修者 □既修者	(有の場合) 志望理由書は過去に出願したものと同一である ☑
住所	〒101-8425 東京 千代田区神田神保町3-8 電話番号 03(3265)6891 携帯番号 090(△△△△)△△△△ E-mail law @ acc.△△△.ac.jp				
入学後の通学住所が上記と異なる場合は☑をしてください。			☑住所変更	※	※
学歴 職歴 社会活動	昭和11年4月～昭和14年3月	3年ヶ月間	東京 東西 高等学校 普通科卒業		
	昭和15年4月～昭和19年3月	4年ヶ月間	国・公立 東西大学 法学部 法律学科 卒業見込み		
	昭和14年4月～昭和15年3月	1年ヶ月間	○× 進学塾 大学受験準備		
	昭和19年4月～昭和26年3月	7年ヶ月間	東西商事(株)入社 法務部配属(正社員)		
	昭和26年4月～昭和29年3月	3年ヶ月間	東西大学法科大学院修了		
	昭和29年4月～昭和30年3月	4年ヶ月間	司法試験受験準備		
	昭和30年3月4月～昭和30年 年 月	年 ヶ月間	専修太郎司法書士事務所勤務(正社員) 現在に至る		
	昭和 年 月～昭和 年 月	年 ヶ月間			
昭和 年 月～昭和 年 月	年 ヶ月間				
昭和 年 月～昭和 年 月	年 ヶ月間				
取得資格 検定試験等	資料番号	取得年月	資格・検定試験名(司法試験受験資格を含む)		備考
	1	昭和11年11月取得	司法書士		
	2	昭和7年3月取得	TOEIC公開テスト スコア780点		母語:日本語
		昭和29年3月取得	司法試験受験資格(東西大学法科大学院修了)		令和3年9月失効
		昭和 年 月取得			
		昭和 年 月取得			
上記記載内容に偽りがなく、添付した証明書類が原本に相違ないことを誓約いたします。			大学使用欄	※	※
志願者氏名(自署) 専修 学			①	②	③
			④	⑤	

※印欄は記入しないでください。



令和9年度 専修大学法科大学院入学者選抜用志願書(パーソナル・データ)

受験番号	※未修				写真貼付欄 1. 上半身脱帽正面背景のないもの 2. 最近3ヶ月以内に撮影したもの 3. 写真(4cm×3cm)を貼付すること	
	※既修					
フリガナ		性別	男・・・1	女・・・2		
氏名		生年月日	昭・平 年 月 日 ( 歳)			
			※年齢は令和9年4月1日現在の年齢を記入してください			
受験期を記載の上、□には該当するものすべてに☑をしてください。				同一年度内入試	過去の出願の有無	
試験区分	第 期	<input type="checkbox"/> スカラ	<input type="checkbox"/> 未修者	<input type="checkbox"/> 既修者	□有 □無 (有の場合) 志望理由は過去に出願したものと同一である □	
		<input type="checkbox"/> 一 般	<input type="checkbox"/> 未修者	<input type="checkbox"/> 既修者		
住 所	〒 都 道 国・公 立 高等 学校 科卒業					
	府 県 私 立 大学 学部 学科 卒業 卒業見込み					
	E-mail @					
入学後の通学住所が上記と異なる場合は☑をしてください。		<input type="checkbox"/> 住所変更	※	※	※	
学 歴 ・ 職 歴 ・ 社会活動	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	都 道 国・公 立 高等 学校 科卒業
	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	国・公 立 大学 学部 学科 卒業 卒業見込み
	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	
	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	
	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	
	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	
	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	
	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	
	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	
	昭和 平成 令和	年 月～	昭和 平成 令和	年 月	年 ヶ月間	
取得資格 ・ 検定試験等	資 料 番 号	取 得 年 月		資格・検定試験名(司法試験受験資格を含む)		備 考
		昭和 平成 令和	年 月	取得		
		昭和 平成 令和	年 月	取得		
		昭和 平成 令和	年 月	取得		
		昭和 平成 令和	年 月	取得		
		昭和 平成 令和	年 月	取得		

上記記載内容に偽りがなく、添付した証明書類が原本に相違ないことを誓約いたします。

志願者氏名(自署) \_\_\_\_\_

大 学 使用欄	※	※	※	※	※
	①	②	③	④	⑤

※印欄は記入しないでください。





受験番号	※(未)	※(既)	氏名	
------	------	------	----	--

### 各種取得資格・検定試験成績等の証明資料貼付用紙

資格・検定試験名	資料番号
証明資料名	発行年月日
	年 月 日

### 資料貼付欄

- ・証明資料（7ページ参照）はコピーでも結構ですが、後日原本の提示をお願いする場合があります。不正が発覚した場合には入学を取り消します。
- ・証明資料が大きい場合は、縮小コピーするか、折り込むなどして枠内に貼付してください。
- ・資料番号は、パーソナル・データの「取得資格・検定試験等」の資料番号と一致させてください。
- ・本用紙が不足の際はホームページからダウンロードまたはコピーして使用してください。  
URL : <https://www.senshu-u.ac.jp/education/lawschool/admission/event.html#boshuyokoQR>



※印欄は記入しないでください。

## 「個人情報の取扱いについて」

本学では、個人情報の保護に関する法律を遵守し、個人情報の適正な取扱いおよび最善の管理対策を講じるよう努めております。

出願にあたって提出していただいた個人情報及び受験番号などの本学で付与した個人情報は、

- ①入学試験の実施
  - ②合格発表
  - ③本学で行う各種講座の案内
  - ④アンケート調査の発送
  - ⑤入学後における学修支援及び学生生活全般の指導・助言
- ならびにこれらに付随する業務を行うために利用いたします。

なお、これらの業務を行うにあたっては、一部の業務を本学と機密保持に関する契約を締結した受託業者に委託し行いますので、提出していただいた個人情報を必要な範囲において受託業者に提供することがあります。

本学は、原則として、あらかじめ本人の同意を得ることなく、第三者に個人情報の提供は行いません。

ただし、「個人情報の保護に関する法律」に基づき個人情報の開示を求められた場合や、個人の生命、身体又は財産の保全上緊急を要する場合は、本人の同意を得ず利用目的以外についても個人情報を開示することがあります。

規則等については、下記の本学ホームページに掲載しています。

(<https://www.senshu-u.ac.jp/about/efforts/privacypolicy/>参照)

また、個人情報は個人を特定できないように統計処理したうえで、本学における入学者選抜のための調査・研究などの資料として利用いたします。あらかじめご了承ください。

## 出願に関する問い合わせ先

法科大学院事務課 TEL 03-3265-6891〔月～金 9：00～17：30〕

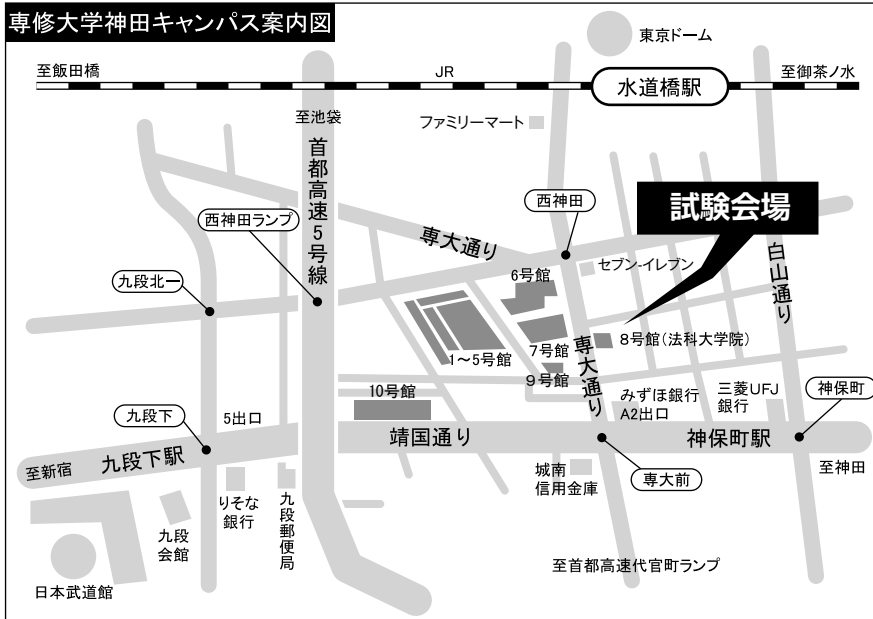
\*夏期期間 8月18日（火）～9月16日（水）は、月～金 10：00～16：00となります。

\*夏期休業 8月11日（火）～8月17日（月）は業務を行いません。

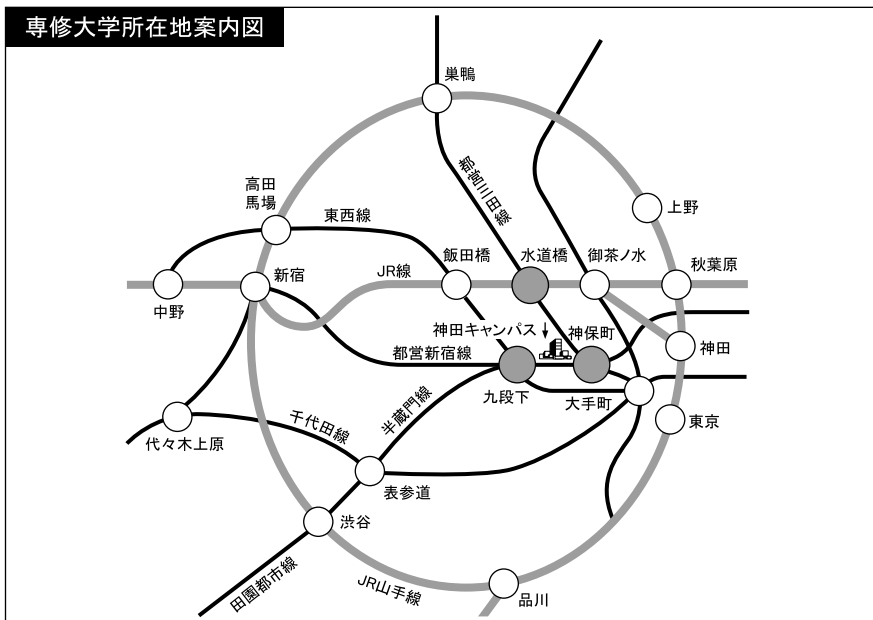
\*冬期休業 12月26日（土）～1月4日（月）は業務を行いません。

\* 8月27日（木）、8月28日（金）、9月7日（月）、9月14日（月）、9月22日（火）、9月23日（水）、11月3日（火）、1月11日（月）、2月11日（木）は業務を行いません。

※お問い合わせいただいても応答がない場合には、窓口取扱時間等を変更している場合がございます。お手数ですが、本学法科大学院Webサイトの「INFORMATION」をご確認ください。



- 〈神田キャンパス〉
- JR 水道橋駅西口より徒歩 6 分
  - 九段下駅（地下鉄／都営新宿線、東西線、半蔵門線）5 番出口より徒歩 4 分
  - 神保町駅（地下鉄／都営三田線、都営新宿線、半蔵門線）A 2 出口より徒歩 1 分



〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3 - 8

TEL 03-3265-6891

<https://www.senshu-u.ac.jp/education/lawschool>

専修大学法科大学院事務課